



報道機関各位

世界最先端の技術による、世界最新の国際理解教育プログラムの実験

ハイブリッドワークショップ

報道関係者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より本学院の教育へご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

11月15日、森田明彦（本学教授）が、九里学院高校（山形県米沢市）、言語交流研究所（ヒッポファミリークラブ）と連携して、リアルとヴァーチャル（オンライン）を繋いだハイブリッド形式の国際理解教育ワークショップの実験を行います。

この実験は、先進的な国際理解教育に取り組んできた九里学院高校と、30数年にわたって多言語教育活動を実践してきた言語交流研究所の協力と、世界最先端のビデオ会議システムである Zoom によって実現可能となったものです。

今春より米国コロンビア大学にて在外研究中の森田は、昨年度（2015年度）日本の大学としては初めて正式な授業の中に多言語習得活動（ヒッポメソッド）を導入、その経験を踏まえて現在、ハイブリッド国際理解教育プログラムの開発に取り組んでいます。

報道関係の皆様におかれましては、本研究活動については是非取材していただきたくお願いいたします。

<本件問合せ先>

担当：尚綱学院大学教授 森田明彦
（米国NYにて在外研究中）

電話番号：090-9856-5782

メール：a_morita@shokei.ac.jp

担当：九里学園高校教員 鈴木精

電話番号：0238-22-0091

メール：sei@tw.kunori-h.ed.jp

【ハイブリッドワークショップ実施概要】

開催日時：11月15日午前10時半～12時半

会場：九里学園高校（山形県米沢市門東町1丁目1-72、電話：0238-22-0091）

と国内外の参加者をZOOMで繋いで実施

プログラム概要：

10:30～10:35 趣旨説明 森田明彦

10:35～11:00 ヒッポメソードによるアイスブレイキング

11:00～11:20 九里学園高校生によるプレゼン

11:20～11:30 休憩

11:30～11:55 オンライン上での小グループに分かれての議論

11:55～12:15 オンライン上での全体発表

12:15～12:20 振り返り

【ZOOMについて】

オンライン上でのブレイクアウトセッション（小グループに分かれての議論）や資料の共有が可能な、通信容量が小さく、安定的なオンライン会議システム。